

○オオキツネノカミソリ本州(武蔵)に産す(小松崎一雄) Kazuo KOMATSU-ZAKI: *Lycoris kiushiana* Makino newly found in Honshū.

オオキツネノカミソリは多良岳(肥前)を原産地とし、外山三郎氏によれば雲仙岳(肥前)、英彦山(豊前)等にも産する由であるが、未だに九州以外にその産地の報告を聞か



*Lycoris Kiushiana* Makino  $\times 0.5$

ない。然るに筆者は昨年7月24日、武蔵の上案下に近い相武国境の山地(高度600m)で *Lycoris* 属一種の群落が一斉に開花中であるを見て、其の花の大きいのと花期の早いのを怪しみ、自宅に持ち帰つて栽植し、その後一ケ年にわたつて生態観察を続けた結果、花期及び花や葉の形状等はオウキツネノカミソリに就ての牧野

博士の記相と全く一致し、又その産状についても高度数百米の樹蔭の斜面に群生する点と全く同様である。本種は花序中の花数が少いこと(2-4)、花が大なること、雄蕊が著しく花冠外に超出すること、就中花期が約一ヶ月早いこと等によつて、類品キツネノカミソリとは明らかに区別出来る。又葉は幅広く緑色を呈する。筆者の標品は国立科学博物館に納めて置いた(東京都葛飾区本田渋谷町535)

*L. Kiushiana* Makino, new to Honshū, is distinguished from *L. sanguinea* Max. in having fewer but larger flowers, stamens much exserted above the perianth and earlier flowering time. In Prov. Musashi, this was found abundantly under the forest trees in the shady slope of Mt. Kagenobu in the similar condition at Mt. Tara, Prov. Hizen, Kiushū, type locality of the species.

○キッコウハグマの変異(杉本順一) Junichi SUGIMOTO: Variation of *Ainsliaea apiculata* Sch.-Bip.

屋久島に於てキッコウハグマが多数の変種を有する事は既に正宗博士によつて報ぜられた。昨年屋久島に行つたので本種のいろいろの型を採集する事が出来た。花茎が分枝